



本年秋、わが国において国際脳神経外科学会にひきつづき、脳神経外科に関連深い多数の学会が開催されます。本号では、国際小児神経学会、国際定位脳手術研究会、Symposium Microneurosurgery の3つを採り上げ、紹介します。

第1回国際小児神経学会 (International Society for Paediatric Neurosurgery)

小児科学とは、内科学の単なる一分野ではないことはすでに常識となっています。また、小児神経科学とは、一般神経科学のなかでも特殊な一分野であることに異存はないはずです。胎生期を含めた中枢神経系の発達段階に眼をむけるならば当然のことでありましょう。

同じ考え方からして、小児神経外科学とは、一般神経外科学のなかでも特殊な専門分野の一つであるといっても過言ではありません。

ことに、小児神経外科学を専門ないし主体にして活動している神経外科医たちにとって、以上の考えは全く自然であり、この考えにもとづき、国際的な小児神経外科学の Society を作りたい希望が生まれてきたわけです。

この具体的な現れが、1971年9月 Paris で行なわれた、本 Society 設立の第1回準備委員会であり、このとき世界各地から11名の発起人のもとで行なわれました。

ここで論じられたことは、Society の活動内容、会員の資格、他の国際学会、地域学会との協調などで、具体的には1972年に正式発足、1973年には第1回の学術発表会を行うことがきまりました。

1972年5月7日、米国 Chicago で15カ国56名の神経外科医が集い、Society の発会、規約の設定及び第1回学術発表会は W. F. N. S. の東京大会に前後して東京で行うことが決定いたしました。

また会員は 1) active members 2) candidate members 3) associate members 4) senior members 5) honorary members に分けられ、Executive Members が以下の如くになりました。

OFFICERS AND COMMITTEES OF THE INTERNATIONAL SOCIETY FOR PAEDIATRIC NEUROSURGERY

President Pro Tem-Jacques Rougerie, *France*.

Secretary Pro Tem-Anthony J. Raimondi, *U. S. A.*

Treasurer Pro Tem-Joseph Ransohoff, *U. S. A.*

Bye-laws Committee-Raul Carrea, *Argentina* (Chairman), Kenneth Till, *U. K.*, Jacques Rougerie, *France*, Byron C. Pevehouse, *U. S. A.*

Membership Committee-Maurice Choux, *France*

(Chairman), John Shaw, *Scotland*, Wolfgang Koos, *Austria*, E. Bruce Hendrick, *Canada*.

Program Committee-Satoshi Matsumoto, *Japan* (Chairman), Steen Flood, *Norway*, Jean Pecker, *France*, John Shaw, *Scotland*.

Education and Publication Committee-Anthony J. Raimondi, *U. S. A.* (Chairman), E. Bruce Hendrick, *Canada*, Wolfgang Koos, *Austria*, Maurice Choux, *France*, Edgar Bering, *U. S. A.*

Affiliation with World Federation of Neurological Surgeons-Raul Carrea, *Argentina*.

また本 Society の例会は World Federation of Neurosurgical Societies の Congress と場所、期日を関連して開催されるが、それ以外の年度は毎年1回世界各地で開催されることに決定されました。

第1回の学術発表会は、第5回 W. F. N. S. と関連づける意味で、10月12、13日に東京経団連会館で行われることになりました。

第1回学術発表会の応募演題は83をかぞえましたが、発表時間の制限から、このうち40題前後の発表を Program Committee で決定いたしました。内容は先天奇型をはじめ、小児脳腫瘍、外傷、感染症、診断法、手術手技等、多岐にわたっています。

本会は発会後いまだ日も浅く、会の内容も多くの方々にはわかっておられないと思いますが、小児神経外科学に強い興味を持つ脳外科医の入会を歓迎いたします。(御希望があれば本 Society の規約 copy をお送りいたします。)

(神戸大学脳神経外科 松本 悟)

第 6 回国際定位脳手術研究会 (The 6th International Symposium on Stereoccephalotomy)

国際脳神経外科学会にひきつづき、昭和 48 年 10 月 12 日 (金)・13 日 (土) の両日、経団連会館 (東京) において国際定位脳手術研究会が開かれる。プログラムの大綱は以下の如くである。

10 月 12 日	午前	Commemoration of Dr. Wycis
	同	Symposium I
	午後	Free papers (A)
	夜	Symposium II
10 月 13 日	午前	Free papers (B, C)
	午後	Spiegel Lecture
	同	Free papers (D, E)
	夜	Banquet

これら 各々について、その内容を今少し詳しく説明すると、冒頭は人に初めて定位脳手術を行ったことで Spiegel Wycis (1947) は有名であるが、その Henry T. Wycis は昨年病逝したので、彼の死を悼んで、Prof. Riechert による記念講演が行われる。また翌日の午後には Spiegel Lecture が行われる。従来、恒例は Dr. Spiegel の paper を会長が代読するという形式であったが、今回は檜村会長が Dr. Spiegel に讃辞を呈することになる。

Symposium I の主題は Fiber connections within the extrapyramidal system で、Mehler, Poirier, Hassler, Grofeva による招待講演が行われ、わが国からは、金沢一郎、吉田充の両氏が指定討論者となっている。Symposium II の主題はコンピューターを応用することによって定位脳手術がどのような方向に変化し、進歩するか、いわば定位脳手術の将来が論じられる筈である。わが国からは、斎藤陽一・大江千広氏の討論が予定されている。

一般演題は 51 題である (国外 40 題、国内 11 題)。これは幾つかの session に分かれる。session A は extrapyramidal disorder に関するもので 16 題、session B は pain の関連演題で 11 題、session C は手技・方法に関するもので 7 題、session E はてんかんないし辺縁系に関するもので 13 題などである。

演説は全て英語で行われる。2 日間に多量の演題を消化しなければならないので、強行日程となったが、事務局では、多数の御参加を期待している。

Symposium Microneurosurgery

国際脳神経外科学会にひきつづき、昭和 48 年 10 月 14 日・15 日の両日、京都市・国立京都国際会議場において Symposium Microneurosurgery が開催される。

Preliminary Program は現在印刷中で、近日中に登録会員に送付されるが、Symposium の大略の予定は次の通りである。

10 月 14 日	9:00-10:00	Registration
	10:00-10:20	開会の辞
	10:20-12:00	Session I (Technology)
	13:20-14:40	Session II (動脈瘤など)
	15:10-17:00	Session III (動脈再建)
	17:00-18:30	Session IV (聴神経腫瘍)
10 月 15 日	9:00-10:20	Session V (末梢神経)
	10:20-12:00	Session VI (脊髄)
	13:30-17:00	Session VII (トルコ鞍部腫瘍)
	17:00-17:10	閉会の辞
	17:30-19:30	Party

現在 Preliminary Program に収載された演題は 37 題うち 27 題が外国から、10 題が国内からの演題である。

登録締切期日はすでに過ぎているが、現在会場の収容人員 (300 席) に多少の余力があるので、会議参加希望のむきは至急下記宛登録用書類を請求の上申し込まれたい。

なお、この Symposium の内容は約半年後に医学書院から英文で出版されることになっている。

連絡先

Symposium Microneurosurgery c/o 半田肇
京都大学医学部脳神経外科
606 京都市左京区聖護院川原町 54
TEL 075-751-3653

取引銀行口座

Symposium Microneurosurgery Saving A/C #38795
The Sanwa Bank, Ltd., Shogoin Branch,
606 Sakyo-ku, Kyoto

お礼 先にお願ひした Neurologia medico-chirurgia 第 6 巻は、岐阜県の松原敏夫先生の御好意により譲っていただくことが出来ました。誌上より、厚く御礼申し上げます。